



42 チュニジア グベラート灌漑事業

灌漑施設の整備により
農業の生産性向上・生産増大に貢献

承諾額／実行額 26億3,700万円／20億800万円
 借入契約調印 1996年12月
 借入契約条件 金利2.7%（コンサルティングサービス部分は2.3%）、
 返済25年（うち据置7年）、一般アンタイド
 貸付完了 2004年12月
 実施機関 農業水資源省



本事業の目的

チュニジア北部に位置するベジャ県グベラートにおいて、2,900haの農地を灌漑することにより、農業の生産性向上を含む生産増大をはかり、農民の生計・生活水準の向上に寄与することを目的とする。

本事業実施による効果(有効性・インパクト) **評価a**

本事業により取水堰・ポンプ場・貯水池の建設、用水路・排水路の整備等が実施された。灌漑受益面積は、当初計画2,900haに対し、2006年実績は2,907ha、受益者数は当初計画1,014人に対し、2006年実績は1,798人、うち実際に灌漑を行っている受益者数は1,004人とほぼ計画を達成している。作付面積の実績は、ジャガイモ、トマト等の作付が若干遅れているため2,097haと計画値をやや下回ったが、そのほかの主要作物別作付面積は概ね計画通りないし計画以上を達成している。1農家当たりの年間平均農業収入は本事業実施前の4,734ディナール*に対し、事業実施後に3万2,147ディナールへと約679%増加した（チュニジア全体の1農家当たり平均農業収入の約4倍に当たる）。この増加は約30%の高所得農家による引上げ効果が大きいものの、低・中所得農家の改善を通じた底上げ効果にも起因することが確認されている。よって、本事業の実施により概ね計画通りの効果発現がみられ、有効性は高い。

*ディナール=チュニジアの通貨単位

灌漑による主要作物別作付面積

| | 計画 | 実績(2006年) |
|-------|--------|-----------|
| 小麦 | 600 ha | 620 ha |
| ジャガイモ | 545 ha | 363 ha |
| 豆类 | 185 ha | 211 ha |
| 飼料用燕麦 | 166 ha | 155 ha |
| 大麦 | 125 ha | 150 ha |
| トマト | 95 ha | 55 ha |
| スイカ | 45 ha | 197 ha |

(出典) 農業水資源省

本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) **評価a**

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、国家計画等と合致しており、事業実施の妥当性はきわめて高い。

事業実施の経済性(効率性) **評価b**

本事業は、事業費については計画を下回ったものの(計画比68%)、期間が計画を大幅に上回ったため(計画比192%)、効率性についての評価は中程度と判断される。事業遅延のおもな要因としては、コンサルタントやコントラクターの選定および契約に時間を要したこと、さらにコンクリート管納入を落札したコントラクターの製造能力不足が納期の遅れをもたらした、敷設工事が長引いたことなどが挙げられる。

今後の展望(持続性) **評価a**

本事業は実施機関の能力および維持管理体制とともに問題なく、高い持続性が見込まれると評価される。



送水設備

開発途上国専門家の意見

本事業は農民の生活水準の向上および事業地域の経済発展に貢献した。3次水路以下の灌漑設備の維持管理には改善の余地があり、農業組合へ技術指導が行われることが望ましい。

専門家の氏名: Mr. Tijani Merdassi (コンサルタント)
 元農業省技官。現在、コンサルタントとして開発案件に参加。専門は農業土木。